

令和6年度 課の運営方針書

都市整備部 公共交通対策課

1 課の運営方針

【課の使命】

鉄道や路線バス、離島航路など市民の日常生活における移動を持続的に支えることのできる、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図ります。

【課の目標】

- ① 公共交通ネットワーク形成事業
持続可能で市民が利用しやすい公共交通ネットワークを図るため、令和2年度に策定した交通のマスタープランである「周南市地域公共交通計画」に基づき、公共交通の利用促進施策などの事業を実施します。
- ② コミュニティ交通運行事業
中山間地域等の移動手段を確保するためコミュニティ交通を運行します。また、住民ニーズを反映した利便性の高い運行内容となるよう検討を行います。
- ③ 路外駐車場管理事業
徳山駅前駐車場や徳山駅西駐車場などの路外駐車場について健全に運営し、駐車場需要への対応や円滑な道路交通を確保します。また、より効率的・効果的な管理運営を行うため官民が連携した管理運営を行い、更なる賑わいの創出、施設の利用促進、市民サービスの向上を図ります。
- ④ 交通結節点環境整備事業
離島航路やコミュニティ交通など複数の交通手段をつなぐ交通結節点の環境改善を行い、公共交通利用者の利便性や快適性の向上を図ります。
- ⑤ 駐車場・駐輪場管理業務
鉄道を利用する通勤、通学者等の利便性を図り、快適な乗継環境を維持するため駐車場や駐輪場の適切な管理を行います。また、徳山駅周辺の駐輪場においては、他の公共施設と一体的に管理することで更なる賑わいの創出、施設の利用促進、市民サービスの向上を図ります。

【行財政改革への取組み】

長時間労働を抑止し、残業代等の人件費を削減するため、各担当業務の進捗状況を課内で共有し、納期を意識した業務の遂行に努めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

公共交通対策担当

鉄道や路線バス、離島航路など市民の日常生活における移動を持続的に支える、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図ります。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	6人	うち	正職員	6人	・	会計年度 任用職員	0人	人件費	正職員	43,236千円	会計年度 任用職員	千円
-----	----	----	-----	----	---	--------------	----	-----	-----	----------	--------------	----

※R4職員平均給与(7,206 千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	259,684千円	歳出予算額	482,781千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	13事業
-------	-----------	-------	-----------	-------------	---------	------

4 課の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	7 生活基盤 1 交通網の充実 4 公共交通の確保・充実	◆コンパクトなまちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築に取り組み、将来にわたって持続可能で利便性の高い公共交通の実現を図ります。
2	7 生活基盤 1 交通網の充実 5 交通結節点の環境整備	◆公共交通利用者の利便性や快適性の向上を図るため鉄道駅等の主要な交通結節点の一体的な整備に取り組み、誰もが利用しやすい環境の実現を図ります。
3	7 生活基盤 1 交通網の充実 6 駐車場・駐輪場の管理	◆鉄道駅に近接する市営駐車場や市営駐輪場を適正に維持管理し長寿命化を図るとともに、路外駐車場事業の健全な運営を行います。